

2018年8月期 第1四半期 決算説明資料

2018年5月10日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
(東証第一部・9418)

代表取締役社長 CEO

宇野 康秀

Copyright © 2018 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

USEN-NEXT HOLDINGS



目次

1.

2018年8月期 第1四半期 決算について

2.

2018年8月期 業績予想について

3.

USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

4.

Appendix

2018年8月期 第1四半期 連結決算のポイント

1.

業績予想に対して概ね順調に推移

売上高360億円（進捗率33%）、営業利益23億円（進捗率43%）

2.

既存安定事業、音楽配信・業務用システム・通信は
堅調に売上・営業利益を創出

3.

高成長事業であるコンテンツ配信事業・エネルギー事業は、
獲得数を拡大しており売上高を大きく積上げる

2018年8月期連結決算ハイライト

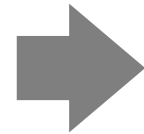
(単位：百万円)	2018年8月期 業績予想	2018年8月期 第1四半期	業績予想進捗率
売上高	108,000	36,086	33.4%
営業利益	5,500	2,375	43.2%
営業利益率(%)	5.0%	6.6%	-
経常利益	4,500	2,053	45.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	1,269	74.6%
一株当たり当期純利益 (円)	28.31	21.13	-

- ・ 統合後1回目の決算発表として、業績予想に対し順調に推移

新セグメントについて

■ 2017年12月期

旧 USEN Sector	音楽配信事業	・音楽配信事業 ・店舗向けIoT事業
	業務用システム事業	・業務用システム事業 ・海外事業
	ICT事業	・ICT/回線事業
	その他事業	・集客支援事業 ・電力事業
旧 U-NEXT Sector	コンテンツプラットフォーム事業	・映像配信事業
	コミュニケーションネットワーク事業	・MVNO事業 ・光回線事業 ・取次事業



■ 2018年8月期

USEN NEXT HOLDINGS	店舗サービス事業	・音楽配信事業 ・店舗向けIoT事業
	通信事業	・ICT/回線事業 ・MVNO事業 ・取次事業
	業務用システム事業	・業務用システム事業 ・海外事業
	コンテンツ配信事業	・映像配信事業
	エネルギー事業	・電力事業
	メディア事業	・集客支援事業

セグメント別業績

2018年8月期 第1四半期	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
■店舗サービス事業	10,593	2,228
■通信事業	10,242	1,039
■業務用システム事業	4,481	844
■コンテンツ配信事業	6,261	198
■エネルギー事業	3,523	▲164
■メディア事業	1,180	66

▶ 主力の音楽配信に加え、POSレジ、Wi-Fi、ペイゲート等の業務店関連商材の販売を強化。また、今期より飲食店や理美容店、小売店などの事業者向けに少額短期保険の販売を開始。

▶ ブロードバンド回線の販売代理は、小規模事業者向けを中心とした新規獲得活動が引き続き堅調に推移。また、オフィスのICT環境構築における、ネットワーク関連サービスやクラウドサービスの販売も強化。

▶ レジャーホテル及び病院向けの自動精算機等の主力商材の活動が引き続き堅調に推移。簡易宿泊所向け宿泊管理システム「innto」をリリースし、新たなマーケットに着手し事業拡大を目指す。

▶ 課金ユーザーがかなり順調に増加するものの、積極的なマーケティング活動による販管費が増大。引き続き会員数拡大に向けた販促費用の投資の強化は継続。

▶ エネルギー事業の拡大により増収するも、エネルギー事業の営業リソースの強化拡充によ初期投資回収フェーズのため赤字計上。

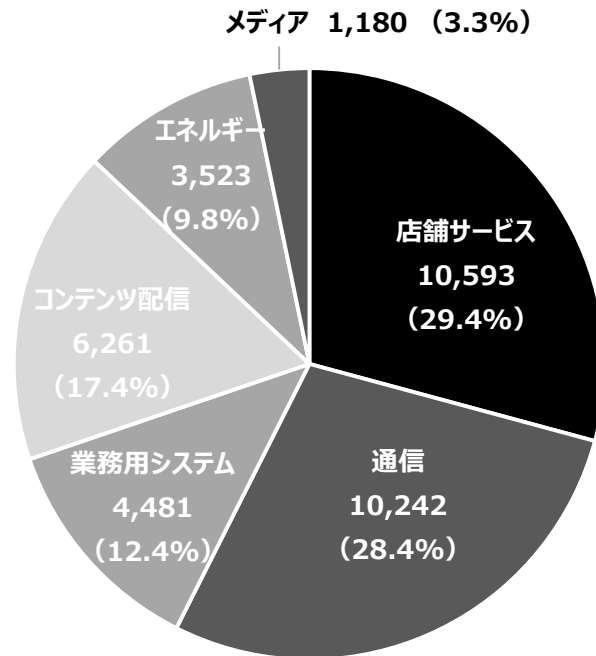
▶ 飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」、ウェディングメディア「ウエコレ」やスタイリスト探しのWEBマガジン「bangs」など、当社の基盤となる顧客にマッチしたサービスの提供・運営が順調に推移。

各セグメントに配分していない全社費用は含まれておりません。また、セグメントが一部変更されているため昨年対比の掲載は見合わせております。

- ・ **店舗サービス、業務用システム、通信事業は安定した売上、利益を創出**
- ・ **成長事業であるコンテンツ配信・エネルギー事業は会員獲得が伸長し販売関連費用が膨らむものの、売り上げでは前年比大幅増**

売上及び営業利益のセグメント構成比

■ 売上



単位：百万円

■売上高の構成は上記のとおりであり、店舗サービス事業で29.4%、通信事業で28.4%と、この2事業だけで全体の57.8%を占める状況になっている。

■ 営業利益

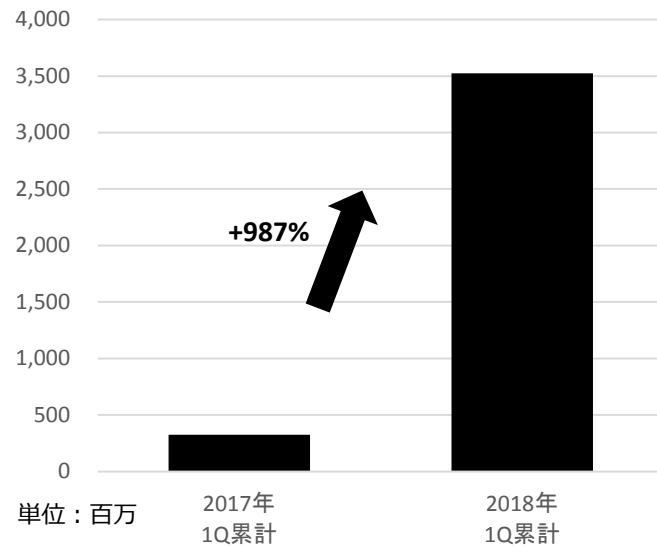


単位：百万円

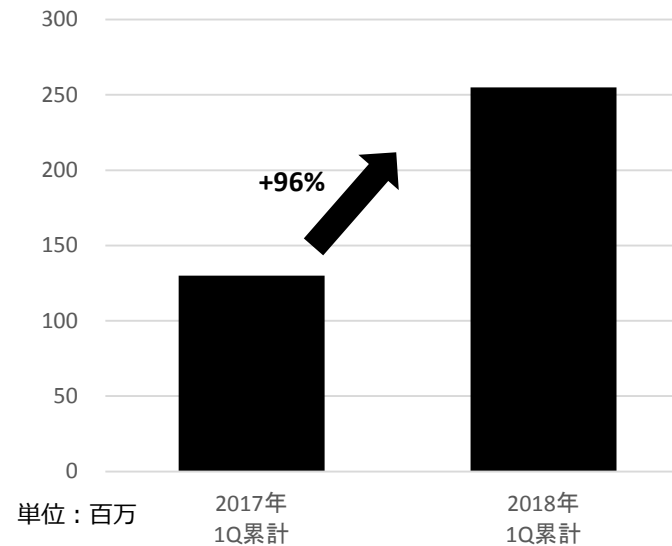
■営業利益の構成は上記のとおりであり、差はあるもののエネルギー事業以外は利益を創出している。また、調整にはホールディングス費用、のれん等が含まれる。

成長事業商材の売上昨年対比

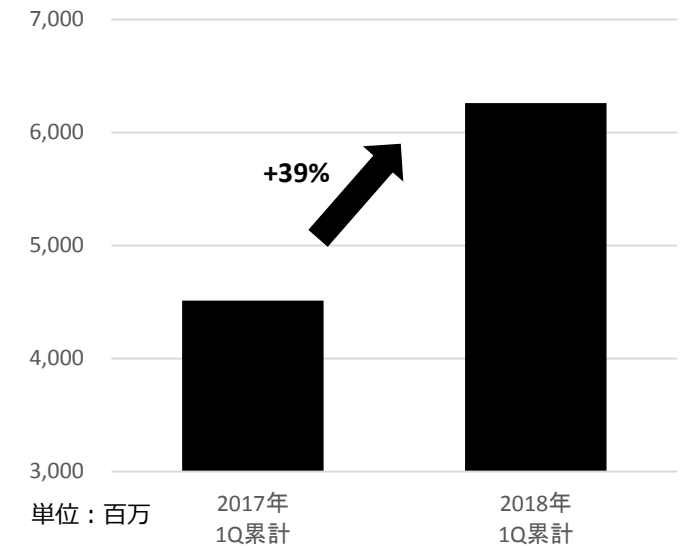
■ USENでんき



■ USEN Register



■ U-NEXT



- ・ 「USENでんき」は約11倍の売上成長
- ・ 店舗向けIoT事業商材「USEN Register」は約2倍の増収
- ・ コンテンツ配信事業商材「U-NEXT」は約1.4倍の増収

決算期変更 USEN決算期対応

前期において(株)USENとの経営統合を実施、今期は旧USENの決算期と統一するため8ヶ月変則決算となります。旧U-NEXT及び旧USENにおける今期決算の対応期間は下記の通りとなります。

●旧U-NEXT及び旧USENの決算期対応

決算	2018年8月期1Q	2018年8月期2Q	2018年8月期3Q	2018年8月期通期
旧U-NEXT	1月～3月	4月～6月	7月～8月	1月～8月 (8ヶ月)
旧USEN	12月～2月	3月～5月	6月～8月	12月～8月 (9ヶ月)

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2017年12月期末	2018年8月期 第1四半期
(資産の部)		
流動資産	37,860	38,547
現金及び預金	13,010	13,527
受取手形及び売掛金	15,455	16,474
たな卸資産	3,321	3,241
その他	7,383	6,677
貸倒引当金	△1,309	△1,373
固定資産	88,057	86,674
有形固定資産	19,155	18,788
無形固定資産	53,758	53,051
のれん	50,187	49,409
その他	3,571	3,641
投資その他の資産	15,144	14,833
その他	19,928	19,619
貸倒引当金	△4,784	△4,785
資産合計	125,918	125,221

(単位：百万円)	2017年12月期末	2018年8月期 第1四半期
(負債の部)		
流動負債	35,499	35,062
支払手形及び買掛金	12,673	14,415
短期借入金	2,500	3,000
1年以内返済予定の長期借入金	4,908	4,908
その他の引当金	283	938
その他	15,132	11,798
固定負債	78,266	77,025
長期借入金	74,807	73,580
退職給付に係る負債	2,724	2,742
その他の引当金	266	264
その他	467	438
負債合計	113,766	112,088
(純資産の部)		
株主資本	11,948	12,931
資本金	94	94
資本剰余金	11,086	11,101
利益剰余金	767	1,735
その他包括利益累計額	81	77
その他有価証券評価差額金	139	113
退職給付に係る調整累計額	△57	△36
非支配株主持分	122	125
純資産合計	12,152	13,133
負債純資産合計	125,918	125,221

- ・ のれんと借入は予定通り減少
- ・ 自己資本比率は9.6%→10.4%

目次

1. 2018年8月期 第1四半期 決算について

2. 2018年8月期 業績予想について

3. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

4. Appendix

2018年8月期業績予想 (再掲)

(単位：百万円)	2018年8月期 業績予想	2018年8月期 12ヶ月換算 (一時費用控除)
売上高	108,000	144,000
営業利益	5,500	9,200
営業利益率(%)	5.0%	6.4%
経常利益	4,500	7,600
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	3,300
1株当たり連結当期純利益 (円)	28.31	54.9
EBITDA	11,920	18,180
EBITDAマージン	11.0%	12.6%
EBITDA-CAPEX	7,483	12,470

・ コンシューマー向けMVNO事業、固定ブロードバンド回線事業、販売代理事業以外のすべての事業
 に関しては増収の見通し。

・ 18年8月期中に実施予定の本社移転に伴う一時費用として本社移転費用を見込む。

目次

1. 2018年8月期 第1四半期 決算について

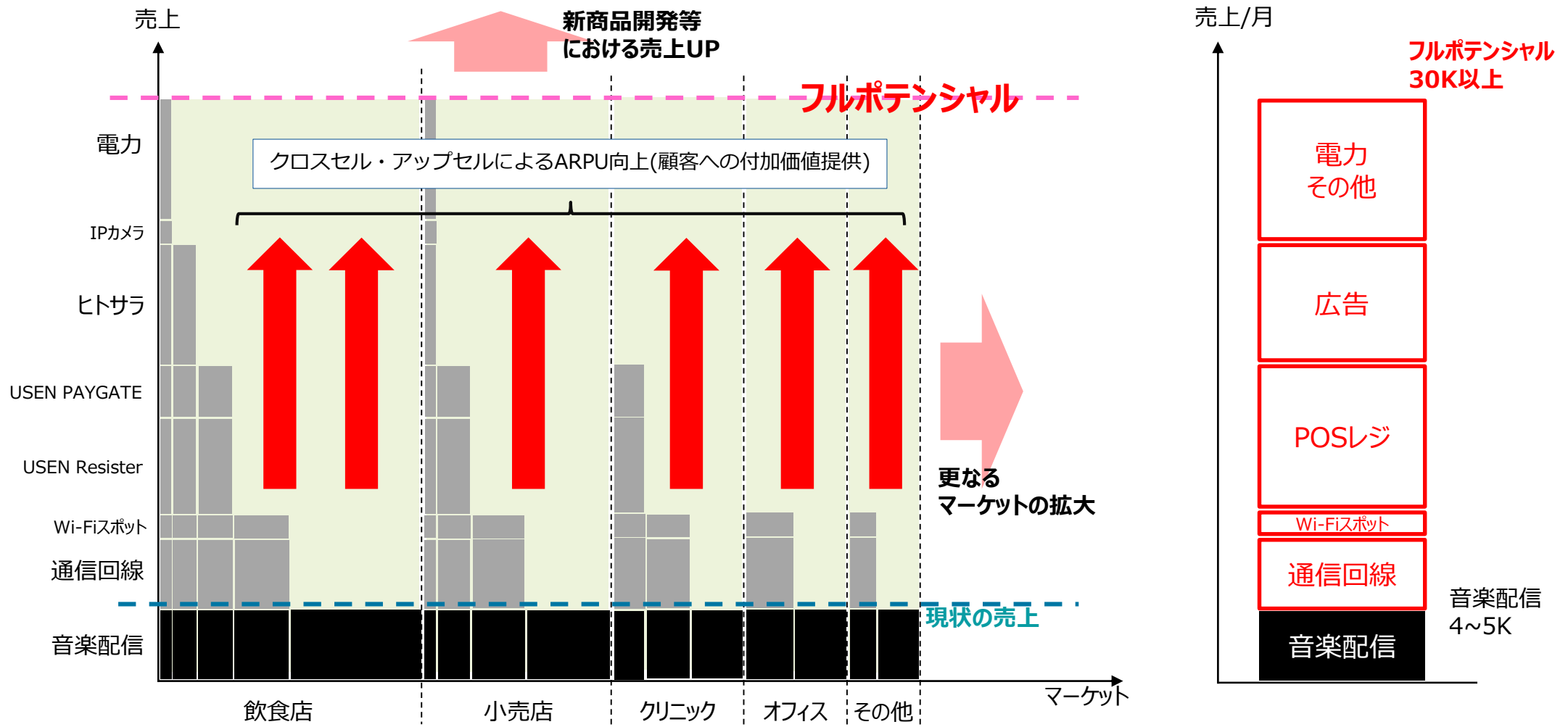
2. 2018年8月期 業績予想について

3. **USEN-NEXT GROUPの取り組みについて**

4. Appendix

グループ顧客資産の有効活用 (再掲)

直販 + テレマ + 代理店 + Web・その他



現状、業務店向け売上の過半を音楽配信が占めています。グループ顧客資産・情報を有効活用し、従来の直販体制に加え、テレマや代理店等のマーケティングチャネルも積極活用し、通信回線や店舗向けソリューションの販売を強化、ARPUの向上を図っていきます。

市場成長に伴うグループの取り組みについて (再掲)



目次

1. 2017年12月期 決算について

2. 2018年8月期 業績予想について

3. USEN-NEXT GROUPについて

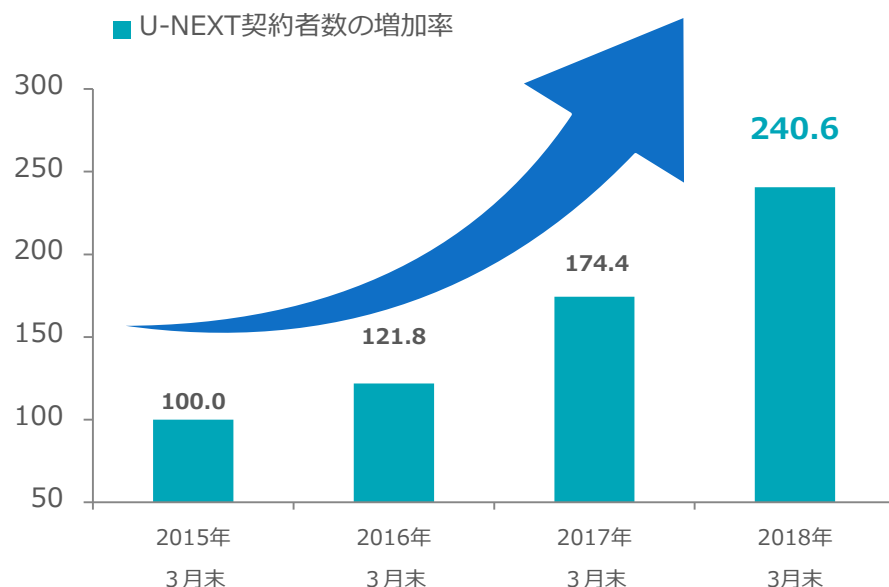
4. **Appendix**

映像配信事業の会員数動向

映像配信サービス「U-NEXT」では会員獲得が順調に推移しており
 ここ半年間で約13万ユーザーが純増

「U-NEXT」契約者数の増加率

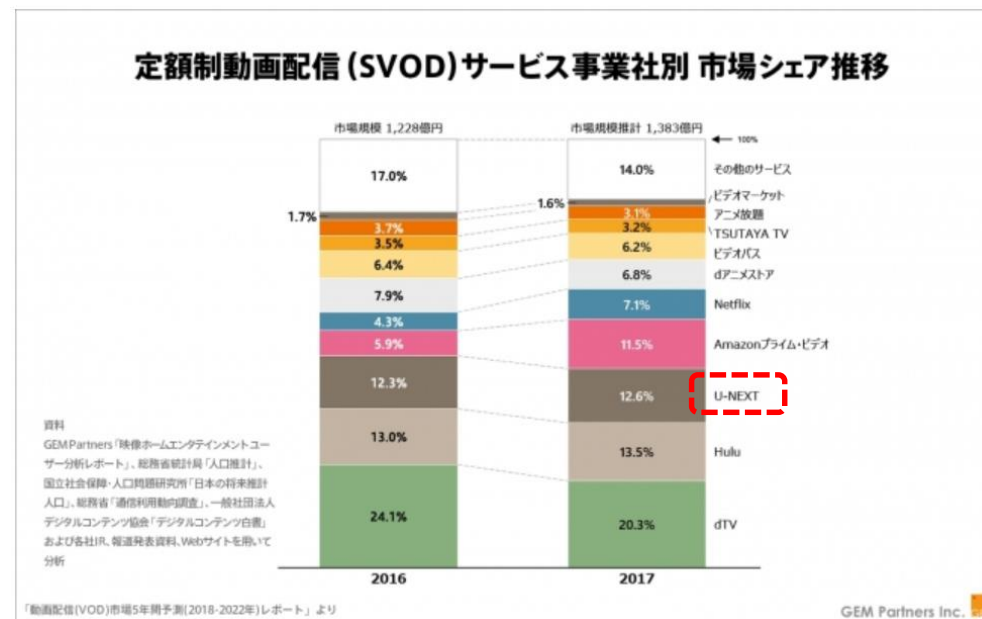
(単位：%)



※2015年3月末を100%として算出しております。

「U-NEXT」契約者数 3年間で**2.4倍**
 昨年同期比でも**38%増**

定額配信サービスシェア

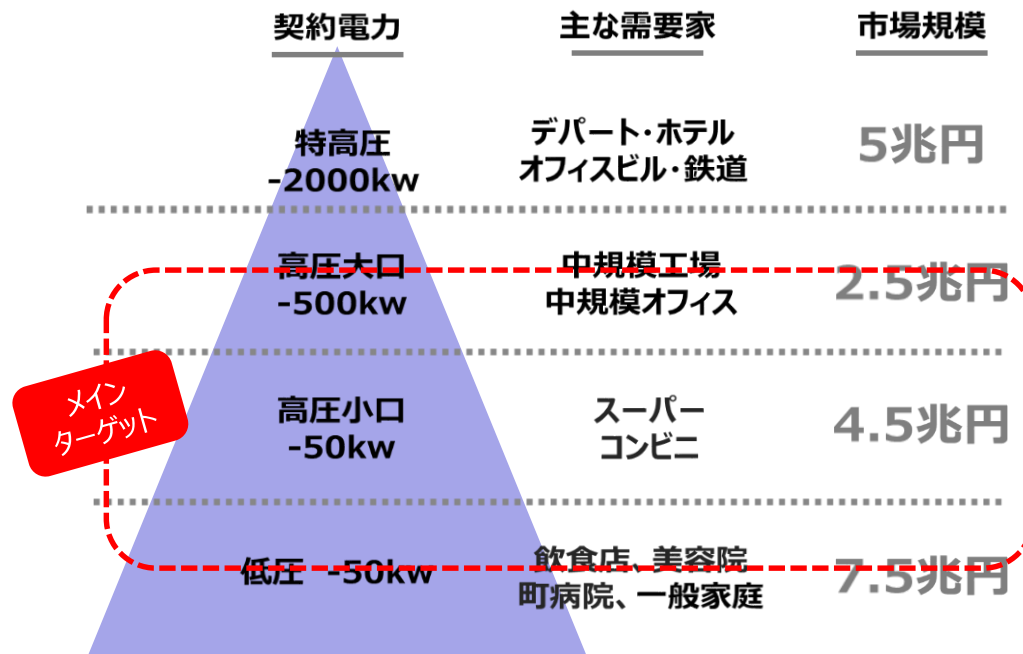
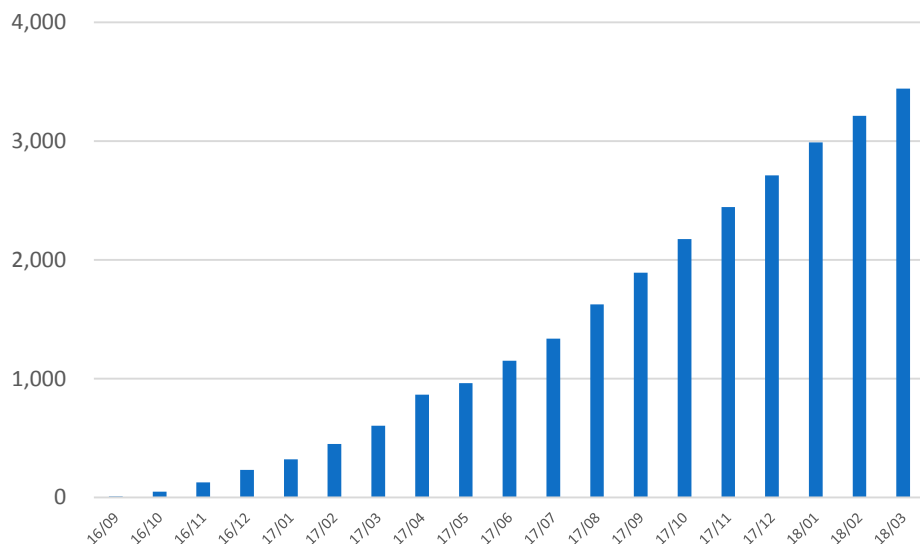


動画配信サービス利用者数が1年で24%増の1,440万人に。2020年までに2,000万人に。(※)
 U-NEXTシェアで**3位**

(※) : ICT総研調べ
 図引用: 定額制動画配信 (SVOD) サービス事業社別 市場シェア推移
 <動画配信 (VOD) 市場規模の予測> 2022年の動画配信市場は2017年比1.4倍、定額制動画配信 (SVOD) サービスが市場の約8割を占めると予想
 URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000013190.html>

電力事業について

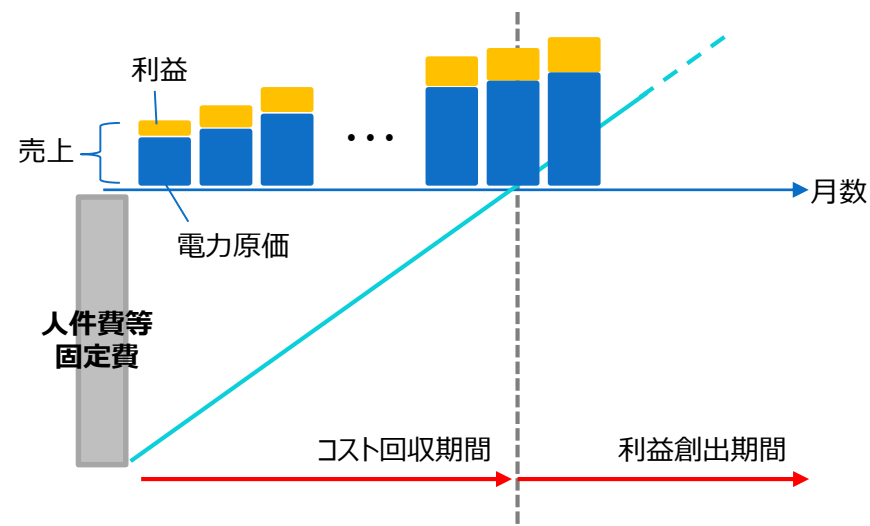
■「USENでんき」契約者数推移



2016年9月の立上げより「USENでんき」は順調に契約者数を伸ばしており、早期に10,000件達成を目指します。

先行投資(固定費)を回収すべく、今後も積極的な拡販体制を維持、2020年夏頃までに黒字化を目指します。

「USENでんき」を、グループ商材のクロスセルに向けたブック商材として位置付けていきます。



■ キャンシステム株式会社の100%子会社化に関する基本合意書締結

平成30年1月29日においてキャンシステム株式会社の発行済株式の全てを取得し、当社グループの一事業会社とすることに関して、キャンシステム株式会社と基本合意書を締結いたしました。

キャンシステム株式会社の概要	
事業内容	音楽・映像放送事業、セキュリティ事業、カード決済関連事業、インターネット関連事業、LED照明事業、総合店舗支援CAN-CLUB事業
資本金	50百万円
大株主及び持分比率	工藤 嘉高 84% / 当社 10%

● キャンシステム株式会社の直近事業年度の財務状況及び経営成績

決算期	平成27年2月期	平成28年2月期	平成29年2月期
純資産	1,429	1,603	1,145
総資産	6,250	6,651	6,108
売上高	5,628	5,515	5,260
営業利益	285	278	229
経常利益	210	200	210

なお本件株式取得に関しまして具体的内容は基本合意書締結後両社協議にて決定されます。加えて、本件株式取得の実行は公正取引委員会の承認が得られることを条件としております。

■ USEN

<サービスリリース>

- ・iPadを利用したPOSレジアプリ第4弾「USEN Register for Store」をリリース
小売店向けに特化したタブレット POS レジアプリで、中小規模の小売店利用に適した「在庫管理」「免税販売」「会計」「統計情報（売上分析）」「複数店舗管理」などの各種機能を標準搭載しています。

(18/2/1)



<新規事業スタート>

- ・USEN、保険事業に参入

少額短期保険を飲食店や理美容店、小売店など事業者向けに販売を開始いたしました。

新たに販売する保険商品「お店のあんしん保険」は、USENがこれまで顧客とのリレーションを通じて蓄積してきたニーズをベースに開発しました。店舗に対して、万一の事故や災害により被った設備などの損害補償だけでなく、お店の家主や来店したお客様にも補償を行い、業務リスクまで補償する画期的な商品です。

(18/2/16)

事業者向けテナント総合保険
お店のあんしん保険



<新機種リリース>

・ホテル向け新型チェックイン/アウト機を開発 多様化する決済に対応
ホテルスタッフの業務効率化・省力化と、宿泊者が簡単にチェックイン・アウト手続きできるセルフ型自動チェックイン機 2 機種を開発いたしました。宿泊施設におけるフロント業務の利便性向上を実現する新型のセルフ型チェックイン機 (KIOSK) を商品化いたします。

(18/2/7)



<サービスリリース>

・民泊／簡易宿所事業者向け宿泊管理システム【innto】をリリース
現在、カプセルホテルやホステルなどの簡易宿所および民泊が注目を集めています。運営スタッフの確保や煩雑なネット予約への対応等課題が少なくありません。こうした課題の解決を図るべく、合法的な民泊・簡易宿所事業者向けの宿泊管理システム【innto】をリリースいたしました。

(18/1/25)





<サービスシステム連携>

- ・民泊／簡易宿所事業者向け宿泊管理システム【innto】をシステム連携
手間いらず株式会社が運営する複数のオンライン宿泊予約サイトを一元管理する『TEMAIRAZU』とのシステム連携することで合意しました。

(18/3/23)



■ USEN Media

<サービスリリース>

- ・プロカメラマンによる飲食店に特化した撮影サービスを商品化
飲食店に特化した撮影サービス『おいしいフォト』を新たに開始いたしました。定めた品質基準をクリアしたプロカメラマンによる撮影サービスで、画像使用权つきで写真を提供するサービスです。

(18/2/22)



■ USEN Media

<企業間業務提携>

- ・USEN MediaとUXデザインカンパニーのアジケが業務提携

グルメサイト『ヒトサラ』が提供するユーザー体験を継続的に向上させていくこと、また事業の成長スピードを飛躍的に向上させることを目的とし、業務提携に至りました。株式会社アジケは、サービスの戦略立案から構築までを担うUXデザインのプロフェッショナルとして、ヒトサラやウエコレユーザー体験向上を支援してきました。

(18/3/22)



<企業間業務提携>

- ・拡大するインバウンド需要に対し、USEN MediaとTSUNAGUが業務提携

株式会社USEN Mediaは、株式会社TSUNAGUとメディア連携において業務提携しました。2020年のオリンピックイヤーに向けてインバウンド需要が拡大する中、飲食店・美容室・結婚式場など約20,000件の顧客をもつUSEN Mediaのコンテンツ力と、tsunagu Japanの海外から集客力を生かしたサービスの提供を行ってまいります。

(18/3/29)



U-NEXT

<サービスリリース>

- ・U-NEXTのFOXチャンネルがテレビでも視聴可能に
U-NEXTの「FOXチャンネル」が、Amazon Fire TVやPlayStation®4等のテレビでも順次視聴可能になりました。

(18/2/21)



※Amazon、Amazon.co.jp、Fire及び関連するロゴはAmazon .com, Inc.またはその関連会社の商標です
※「PlayStation」は、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です
©2018 AMC Network Entertainment LLC. All Rights Reserved.

<新機種リリース>

- ・サクサク、簡単。U-NEXTにどっぷり浸れる新STB「U-NEXT TV」を販売開始
U-NEXTは、Huawei製のAndroid TV OSを搭載した新セットトップボックス(STB)「U-NEXT TV」<9,800円(税抜)>の販売を開始いたしました。専用リモコンでサクサク動くので、ストレスなくお楽しみいただけます。

(18/3/27)

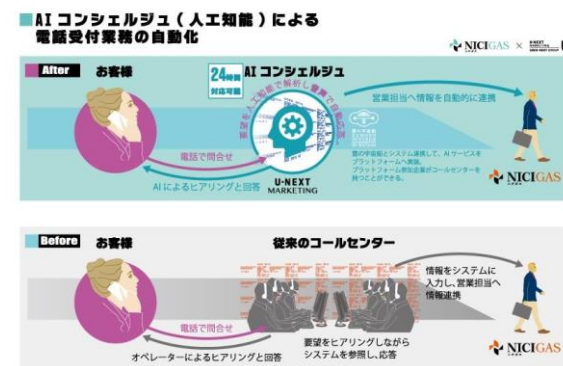


U-NEXT MARKETING

<共同開発>

- ・エネルギー業界初AIコンシェルジュを活用し、電話受付業務の一部を自動化
U-NEXTマーケティングと日本瓦斯株式会社は、音声による会話や言葉を認識・解析する人工知能(AI)技術を活用した自動応答サービス『AI コンシェルジュ』を用いて、入居に伴うガス利用のお手続きの電話受付を開始いたしました。

(18/1/9)



将来見通しに対する注記事項

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。